

新規産業育成

—今後の成長が期待される技術分野の支援—

ものづくりのグローバル化が進展する中で、都内中小企業が競争を勝ち抜くためには、世界で通用する付加価値の獲得が求められています。また、先進諸国が抱える社会的課題として環境やエネルギー資源に関する対応や高齢化社会への対応が急がれています。

都産技研ではこれらに打ち勝つ技術支援として、今後産業創出を生む4つの技術分野に対し集中的に技術支援を行い産業育成を図ることで、都内中小企業が急激な変化に対応できる技術基盤を整備します。

環境・省エネルギー

環境性能評価支援

ライフサイクルアセスメント（LCA）による製品の環境性能を評価することにより、設計段階から環境負荷を考慮した上流技術支援を行い、グリーン調達などに対応します。

省エネルギー技術支援

LEDや有機ELなど低消費電力素子や太陽電池などを利用した製品の設計・開発支援を行います。

メカトロニクス

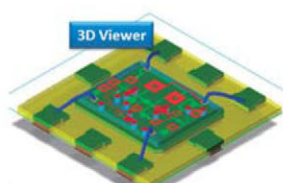
高機能・インテリジェントなメカトロニクス製品開発

中小企業が製造する機械にメカトロニクス技術を組み込むことにより、高速化、高精度化、インテリジェント化することが可能となり、高付加価値でオンリーワンの製品を製造することが可能となります。ミドルウェア、モジュール部品を活用することにより最先端のメカトロニクス・ロボット技術を取り入れた製品開発の支援を行います。

EMC・半導体

デバイス設計開発支援

高周波や半導体分野の新技术を応用し、中小企業のオリジナルな競争力を有する高付加価値製品の創出を支援します。



回路設計ツール

バイオ応用

都民の安全・安心を支えるバイオ産業を支援

東京はバイオ関連企業の比率が高く、人材・情報・研究機関が集中しています。バイオセンサー、バイオチップの研究開発から実用化を目指す企業を支援することで、付加価値の高いバイオ産業を実現します。

その他の新本部の特徴的な試験設備および施設の紹介

材料強度試験室

高強度な材料試験に対応します

都産技研では、現在2000kNの万能試験機で引張り、圧縮関連の材料強度試験を行っています。最近の高強度材料の試験ニーズにお応えして、さらに高強度に対応できる3000kNの万能試験機を導入します。また、ねじり試験機も新しい機器を導入するなど、材料強度分野の強化を図ります。

高周波対応の測定室

高周波の測定試験に対応します

電子機器等のデジタル化に伴い、新本部では周波数の高い領域の測定が行える試験室を設置します。試験室や測定機器は測定周波数が70GHzの高周波帯まで対応しており、主にアンテナなどの性能を測定することができます。

講堂

産学公連携セミナーや講演会を開催します

新本部5階に約200席の講堂を設置します。新本部の講堂では、産学公連携事業におけるセミナーの開催や学協会と連携した講演会などを予定しています。

食堂

お客様もご利用いただける食堂です

新本部5階に約80席の食堂を用意します。食堂からは東京港を臨める眺めのよい場所になっています。都産技研に来られたお客様もご利用できますので、お立ち寄り下さい。